



## VOLVO CAR JAPAN

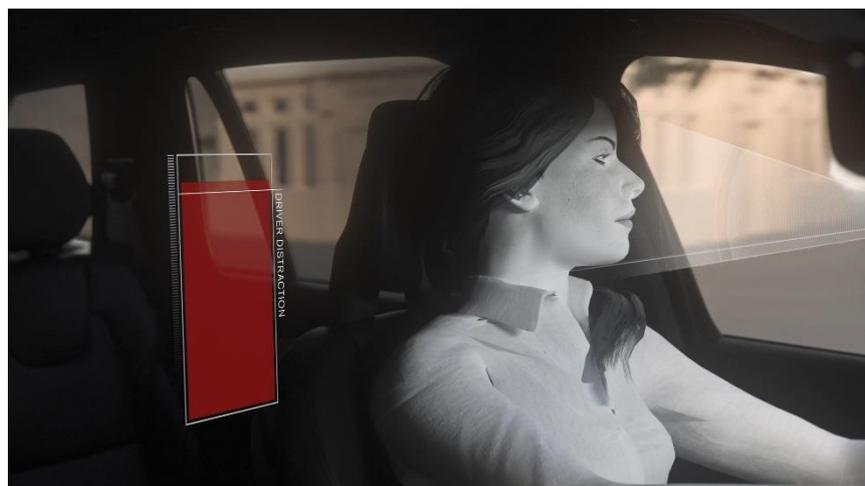
Press Release

2019年3月22日

# ボルボ・カーズ、飲酒や薬物使用による酩酊および注意散漫に対処するため車内カメラを導入

本プレスリリースは、3月20日スウェーデン本社発、プレスリリースの翻訳版です

ボルボ・カーズは、飲酒や薬物使用による酩酊および注意散漫の問題に対処することで、搭乗中の死亡重傷事故をなくすという目標への新たな一歩を踏み出すことを明らかにしました。



「スピードの出し過ぎによる危険性」に対処することを目的とした最高速度制限の他に、交通の安全を阻害する要因として、「飲酒や薬物使用による酩酊」および「注意散漫」といった二つの問題が存在します。これら三つの問題は、ともに「交通事故による死亡者または重傷者をゼロにする」という将来に向けたボルボ・カーズのビジョンに対する課題(いわゆる「ギャップ」)となっており、ボルボの安全に対する取り組みとしても「人間の行動」に焦点を当てる必要があります。

たとえば NHTSA(国家道路交通安全局)の統計によると、2017 年の米国における全交通死亡事故数の約 30 パーセントが飲酒や薬物使用による酩酊によるものでした。

ボルボ・カーズは、車内カメラやドライバーを監視するセンサーなどを設置することで中毒や注意散漫に対処すべきだと考えています。そして飲酒や薬物使用による酩酊または注意散漫であることが明らかなドライバーが車両の発する警告信号に反応せず、死亡や重大な怪我に至る事故を起こす危険性がある場合は、車が運転に介入できるようにする必要があります。

報道関係お問い合わせ先

ボルボ・カー・ジャパン 広報部

Email : [vcjpr@volvocars.com](mailto:vcjpr@volvocars.com) TEL : 03-5404-8611(代表)

車両による介入には、「その車の最高速度を制限する」、「Volvo on Call アシスタンス・サービスに警告を発する」という方法に加えて、最後の手段として、「その車を自動で減速させて安全に駐車させる」ことまでが含まれます。

ボルボ・カーズ研究開発担当上級副社長のヘンリック・グリーンは、次のように語っています。「安全性に関して言えば、事故が差し迫り、避けられないときの影響を緩和するという方法ではなく、事故を完全に回避することが私たちの目的です。そのために、カメラを通じて死亡事故や重大な怪我を引き起こす可能性のある行動を監視するのです。」

このような危険を招く行動の例としては、「長時間にわたりステアリングの操作が全くない」、「ドライバーが長い時間にわたり目を閉じているか路面を注視していない」、「走行中の車線を逸脱するほどの蛇行運転をする」、あるいは「反応時間が極端に遅い」などが挙げられます。

ここに述べたドライバー監視システムは、死亡や深刻な怪我につながる可能性のある事故を回避する目的としています。これは、車が自発的に決定を下せるようにするための重要な要素です。

ボルボ・カーズで運転者行動学(Driver Behaviour)のトレント・ビクター博士は、次のようにコメントしています。「ドライバーが飲酒や薬物使用で酩酊した結果、事故を起こす例が数多くあります。いまだに多くの人が『飲酒しても運転はできるし、自分の能力に影響を及ぼさない』と信じているようですが、私たちは、飲酒や薬物使用による酩酊の結果として人々を危険にさらすことがないようにしたいのです。」

2020 年代初頭の次世代スケーラブル・プロダクト・アーキテクチャー2 (SPA2) プラットフォームの導入と同時期にすべてのボルボ車にカメラが導入されます。カメラの正確な台数や車内のどの位置に設置するかについては後の段階で明らかにする予定です。

スピードの出し過ぎによる危険性を強く喚起するため、本日の発表は、「2021 年モデル以降のすべてのボルボ車の最高速度を時速 180 キロに制限すること」と一緒にして考えるべきでしょう。

ボルボは、ドライバーの行動を変える技術を自動車に搭載することで、スピードの出し過ぎ、飲酒や薬物使用による酩酊、注意散漫といった問題に取り組む権利や義務が自動車メーカーにあるのかどうかについて、議論を始めたいと考えています。速度制限や車内カメラの設置は、どちらもドライバーのより適切な行動をサポートすることで交通事故による死傷者をゼロにすることを目指しており、そのために自動車メーカーはどのように積極的に取り組むべきかを示しています。

本日、ボルボ・カーズは「ケア・キー」も発表しました。これは、2021 年モデル以降に採用されるもので、ボルボ車のドライバーが他の人に自分の車を貸す前に、ドライバー自身で車の最高速度を制限しておくことができるというものです。

ケア・キー、監視カメラ、速度制限、そして既存のドライバー・アシスタント・システムは、すべてが安全運転を支援するという目的で採用されるシステムです。

---

報道関係お問い合わせ先

ボルボ・カー・ジャパン 広報部

Email : [vcjpr@volvocars.com](mailto:vcjpr@volvocars.com) TEL : 03-5404-8611(代表)

---